

予算編成（一般会計）過程の公表について

予算編成作業は9月の予算編成方針策定から始まり、10月から1月までの約3ヶ月半の査定作業を経て、第1回市議会定例会（2月～3月）に予算案として提出されます。

査定作業は、翌年度の歳入見込みを勘案しつつ、各部・課から提出された予算要求書に計上されている事業の内容・事業額を精査し、実施事業などを決定していくもので、この間、内容により、課長、部長、副市長、市長と段階を経て、繰り返し検討が重ねられていきます。この査定作業は、限られた歳入見込みの中で進められていくため、予算の都合により残念ながら不採択となる事業や当初より縮小される事業も数多くあります。そこで各課からどのような事業の要求があり、どのように事業費が推移したのか、主な事業に関する31年度予算編成の過程を公表いたします。

一般会計歳入（款別）

（単位：千円）

款の名称	財政課長査定前	1月末最終調整額
市税	35,846,945	
地方譲与税	392,000	
利子割交付金	44,000	
配当割交付金	194,000	
株式等譲渡所得割交付金	200,000	
地方消費税交付金	3,710,288	
ゴルフ場利用税交付金	43,000	
自動車取得税交付金	144,000	
地方特例交付金	285,000	
地方交付税	1,405,571	
交通安全対策特別交付金	23,000	
分担金及び負担金	1,249,105	
使用料及び手数料	821,862	
国庫支出金	11,558,409	
県支出金	5,501,009	
財産収入	619,140	
寄附金	36,076	
繰入金	122,564	
繰越金	0	
諸収入	3,130,097	
市債	6,875,237	
合計	72,201,303	0

歳入については、国や県の財政改革や制度の動向、翌年度の景気見通し等により判断します。国が発表する地方財政計画という地方財政の見通しも重要な指標となります。財産収入や繰越金、市債などのように、ある程度見通しの立つものと、市税や各種交付金などのように、景気や経済動向に左右され、予測の困難なものがありますが、できる限り実収入に近づけるように見積もっています。

31年度の歳入の動向について、市の歳入の根幹となる市税は、雇用・所得環境の改善等により、個人市民税の増収が見込まれるものの、法人税割の税率引き下げの影響による法人市民税の減収が見込まれます。また、地方譲与税等各種交付金については、未確定な部分もありますが、できるだけ地方財政計画を反映した中で、見積もりを行っています。

なお、左記の歳入については、31年度予算を編成するために算出した金額ですが、市債については、事業費が決定後に最終調整額として算出しています。また、国庫支出金や県支出金については、国の予算編成の動向によっては、大幅に変更となる可能性があります。このため、今後、左記の各款の金額は変動していきます。

主な査定の経過

歳出予算については、第一次経費（主に経常的な経費）と第二次経費（主に政策的な経費）とに分けて要求があります。

一般会計歳出（款別）

（単位；千円）

款の名称	第一次経費			第二次経費			第一次・第二次経費 最終額合計
	当初要求額	12月末現在第一回調整額	1月末現在最終調整額	財政課長査定前	12月末現在第一回調整額	1月末現在最終調整額	1月末現在最終調整額
議会費	259,897			167,707			0
総務費	1,548,216			8,694,364			0
民生費	892,326			32,820,989			0
衛生費	2,052,614			5,901,825			0
労働費	118,358			170,342			0
農林水産業費	88,800			230,125			0
商工費	1,378,240			1,733,732			0
土木費	816,191			5,744,547			0
消防費	180,014			2,249,529			0
教育費	1,944,973			2,995,349			0
災害復旧費				3,000			0
公債費				4,585,630			0
予備費				50,000			0
合計	9,279,629	0	0	65,347,139	0	0	0

※職員給与費は、第二次経費の各款に振り分けて計上しています。

一般会計歳出（部局別）

（単位；千円）

部局の名称	第一次経費			第二次経費			第一次・第二次合計
	当初要求額	12月末現在第一回調整額	1月末現在最終調整額	財政課長査定前	12月末現在第一回調整額	1月末現在最終調整額	1月末現在最終調整額
総務部	516,299			14,169,673			0
企画部	483,102			1,078,105			0
財務部	388,546			7,043,926			0
市民安全部	294,379			511,398			0
経済部	1,575,239			1,982,982			0
文化生涯学習部	177,240			825,468			0
福祉部	197,870			17,160,359			0
こども育成部	479,197			13,371,085			0
環境部	1,915,283			1,341,436			0
都市部	58,358			213,390			0
建設部	660,000			1,812,997			0
下水道河川部	85,841			2,313,290			0
保健所	31,516			1,779,527			0
消防本部	180,014			107,964			0
会計課	12,402			0			0
議会事務局	259,897			59,859			0
教育総務部	1,186,251			902,118			0
教育推進部	758,722			489,476			0
選挙管理委員会事務局	2,794			183,736			0
監査事務局	4,454						0
農業委員会事務局	12,225			350			0
合 計	9,279,629	0	0	65,347,139	0	0	0

※職員給与費は、原則として総務部職員課で一括して予算計上しています。

第二次経費の中では、翌年度の福祉に関する事業や道路整備などの建設事業、あるいは政策的な事業などに必要な費用が要求されており、市民生活にも影響の深い、特に大事な予算といえます。第二次経費要求額は、茅ヶ崎市総合計画第4次実施計画においても、事業の実施について検討されている政策的事業であり、各部署から要求のあったものですが、今後この要求に係る査定の主な経過についてご報告します。

<第二次経費の要求内容（主な事業を掲載しています。）>

（単位：千円）

基本理念の種別	事業名	財政課長査定前	12月末現在第一回調整額	1月末現在最終調整額	調整の内容
ひとづくり	市民文化会館関係経費（総務費）	4,046,618			
	民間保育所等運営事業（民生費）				
	（仮称）茅ヶ崎市歴史文化交流館整備事業費（教育費）				
地域づくり	障害者生活支援事業費（民生費）	727,529			
	地域生活支援事業費（民生費）				
	生活保護総務管理経費（民生費）				
	保健所管理運営経費（衛生費）				
暮らしづくり	防災行政用無線整備事業費（総務費）	1,222,136			
	粗大ごみ処理施設整備事業費（衛生費）				
	消防通信業務管理経費（消防費）				
まちづくり	道の駅整備推進事業費（商工費）	2,926,122			
	千ノ川整備事業費（土木費）				
	浜見平地区拠点整備事業費（土木費）				
	萩園地区産業系市街地整備事業費（土木費）				
	茅ヶ崎駅南口周辺道路整備事業費（土木費）				
	（仮称）小和田地区市営住宅整備事業費（土木費）				
行政経営	総合計画事業費（総務費）	564,307			
	本庁舎跡地整備事業費（総務費）				
	戸籍住民基本台帳管理経費（総務費）				
	個人番号カード等交付事務管理経費（総務費）				
	国県事業対策費（総務費）				

～扶助費及び関連経費～ 生活保護や母子・小児・高齢者の医療など福祉に関する経費です。
 (民生費及び衛生費) (主な事業を掲載しています。)

(単位：千円)

福祉的施策の種別	事業名	財政課長査定前	12月末現在第一回調整額	1月末現在最終調整額	調整の内容
生活保護及び 保健・医療関 係経費	医療費助成費	5,686,550			
	ひとり親家庭等医療費助成事業費				
	生活保護扶助費				
	がん検診事業費				
	健康教育事業費				
	予防接種事業費				
母子健康診査相談事業費					
高齢者福祉関 係経費	緊急通報装置貸与事業費	107,323			
	避難行動要支援者支援事業費				
	高齢者等居住支援事業費				
	老人保護措置費				
こども・保健 関係経費	民間保育所運営補助事業費	11,229,623			
	小児医療費助成事業費				
	民間保育所等運営事業費				
	児童手当費				
	児童扶養手当支給事業費				
	放課後児童健全育成事業費				
こども予防接種事業費					
障害者関係経 費	介護給付費	2,709,211			
	自立支援医療費				
	障害者生活支援事業費				
	地域生活支援事業費				